

「美しき嫌われ者”花粉光環”(1)」

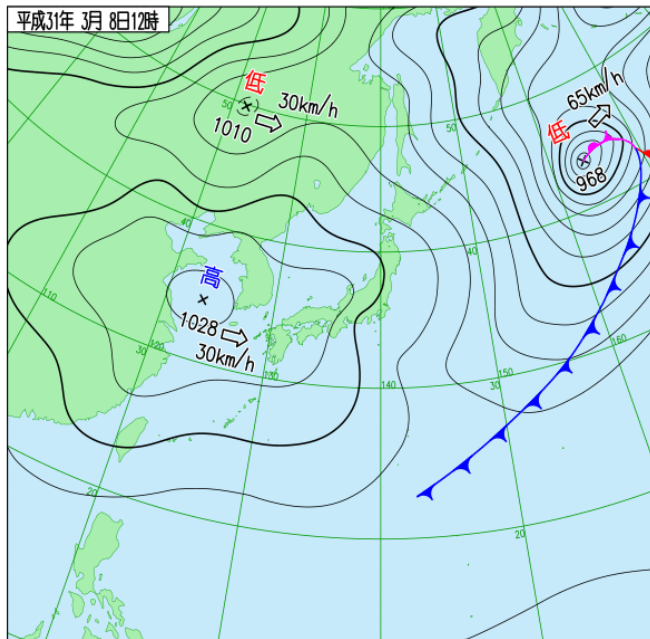
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

自然界には、非常に美しいのに、嫌われているものが存在する。たとえば、「酸化オスミウムの結晶」がそれに該当する。**酸化オスミウム OsO_4** は、非常に美しい淡緑黄色の結晶で、硬度があれば指輪にしたいような化合物だ。しかしこの結晶は融点が常温に近く、揮発性である。重金属の酸化物としては稀な性質だ。しかもその蒸気は「猛毒」ときている。まさに「美しき嫌われ者」と言えるだろう。大気光学現象にも「美しき嫌われ者」が存在する。その横綱が「花粉光環」だ。

「花粉光環」は、スギ花粉などが大量に、しかも均一な密度で飛んでいる、よく晴れた日に観測される。3月の上旬~中旬で、雨の翌日に快晴になったような日は、花粉が大量に飛ぶ。3月8日は、まさにこの条件にぴったりの日だった。



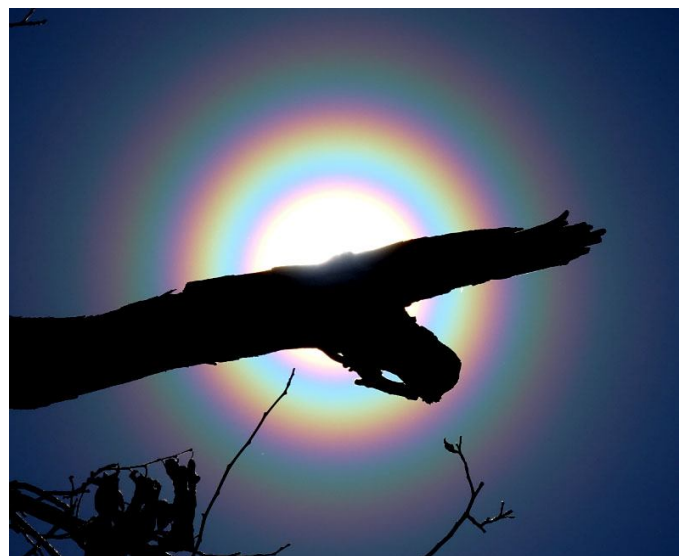
これが3月8日(正午)の天気図だ。北海道沖にある優勢な低気圧は、前日に関東地方に雨を降らせた南岸低気圧が発達したものだ。3月8日は、黄海に中心を持つ移動性高気圧に本州が覆われ、関東も快晴になった。低気圧に吹き込む西風もやや強く、花粉が大量に飛来する条件がすべて揃っていたのだ。この日は、私の受け持つ5年生は、校外学習だった。東村山(萩山)の農場に、ジャガイモの植え付けに出かけたのだ。



畑には管理の方がいて、一年中農作業をしてくださっている。すでにマルチが張られ、植え付け用の穴も開けられているので、あとは土を掘って、種イモを植えるだけの作業だ。6月に1年生と一緒に収穫に来るので、5年生は非常に丁寧に作業していた。



ふと畑の上の樹木の枝を見ると、枝越しに隠れた太陽の周囲に色がついている。もしか、これは・・・?



「花粉光環」である。昨年と同じ時期に写真に撮ったが、比較にならないほど鮮明だ。太陽に注意深く手のひらをかざすと、肉眼でもはっきりと確認できた。